

新しい風  
嶺岡慎悟



嶺岡議員のすべての  
一般質問が視聴  
できます



公共交通の目指す方向は

**Q** 今年度から公共交通政策の所管が都市政策課に移ったが、住民主体の政策から、市主体の公共交通を目指していくことになるのか伺う。



利用者の特性にあった移動手段の確保に努める

**A** 多様化する市民の移動ニーズに対して、きめ細やかに対応するため、まちづくり協議会による生活支援車の運行を支援しつつ、ネットワーク機能の役割として、拠点間を結ぶ交通サービスの充実も重要であると考えています。

このため、民間企業と連携した自動運転等を見据えた持続可能な公共交通の構築を検討し、利用者の特性にあった移動手段の確保に努めていきます。

今後の地区集会の在り方は

**Q** 榛村市政から続く掛川市特有の地区集会であるが、久保田市政としての地区集会の在り方に対する考えを伺う。

地区集会がよりよい仕組みとなるよう改善を図る

**A** 掛川市の地区集会の特徴としては、地区単位規模の小さな集会所として実施しています。地域と掛川市、双方に負担はあるものの、地区の声をきめ細やかに聞く、素晴らしい取り組みと認識しています。今後は、これまでの地区集会を基本としながらも、より良い仕組みとなるよう改善を図っていきます。

【その他の質問事項】

デジタル田園都市国家構想について

共に創る掛川  
富田まゆみ



富田議員のすべての  
一般質問が視聴  
できます



労働問題懇話会を働く方々の声を反映した形に

**Q** 意見交換の場とされる労働問題懇話会は、通告形式で年1回の開催となっている。働く方々の声が反映されるよう、対話手法の導入や回数を増やすなど、開催方法の考慮が有効と考えるが見解を伺う。

関係機関と協議し在り方を検討する

**A** 労働問題懇話会は、磐田労働基準監督署や掛川公共職業安定所に参加いただき、施策の紹介のほか、労働団体との意見交換を行っています。そのため、関係機関と協議し、会議の在り方を含め検討していきます。なお、他にも近隣市と同で労働団体との会議を実施しています。

相談業務効率化事業を全庁的に広げるべき

**Q** 全庁的に相談業務を行う課に「相談業務効率化事業」を広げていくことで相談対応の効率化が図られ、働き方改革の面からも有効と考えられるが、見解を伺う。

全庁的な業務に広げられるよう検証、改善を重ねる

**A** 「相談業務支援システム」は幅広い業務における活用が期待できます。職員の経験や知識に関わらず、効率的な相談対応が可能となるため、相談者に寄り添った支援を提供できる体制が築けると考えています。本年度は、一部業務での導入を予定していますので、全庁的な相談業務に広げられるよう、さらなる検証や改善を重ねていきます。

【その他の質問事項】

地方創生推進交付金の活用方策について